

あふれる阿蘇や家族への思い

『前向き、自分史』

元中学校長の竹原さん出版(阿蘇市)

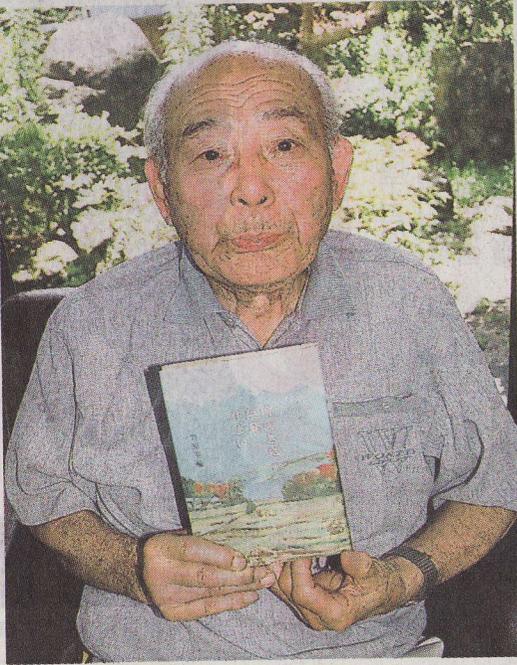
自然、教育の史料に

阿蘇市蔵原の元中学校長、竹原幸範さん(69)が、自分史「前向きに阿蘇住まい」二百冊を自費出版した。昨年春、「九十歳の卒寿を前に、阿蘇と家族に対する思いを書き留めておこう」と思い立ち、一年かけてまとめた。

竹原さんは教員歴三十九年で、宮原小(小国町)、高森小(高森町)、一の宮中(阿蘇市)の各校長を歴任。退職後は、旧阿蘇町文化協会や阿蘇少年少女合唱団の発足にかかわり、現在も阿蘇の自然を愛する会の会長を務めている。教員時代の思い出話のほか、合唱団、文化協会、発足のいきさつも紹介。自然保護への思いは強く、阿蘇の自然を愛する会が取り組んだ、北外輪山でのオートレース場や大規模墓地の建設計画阻止運動を振り返り、「阿蘇は乱開発に狙われている。今後こうした事例が発生するのは間違いない」と警告している。

校正を手伝った障害者

作業所「夢屋」を主宰する宮本誠一さん(45)は同市一の宮町宮地。阿蘇の教育、自然保護、文化活動の一端を知ることができると貴重な史料と話している。「前向きに阿蘇住まい」はA5判、百五十八頁。阿蘇市内二カ所の市立図書館などに贈呈する予定という。(長崎恒作)



自分史「前向きに阿蘇住まい」を自費出版した竹原幸範さん
|| 阿蘇市